

# JPCOARと国立情報学研究所の連携による RDM教材開発について

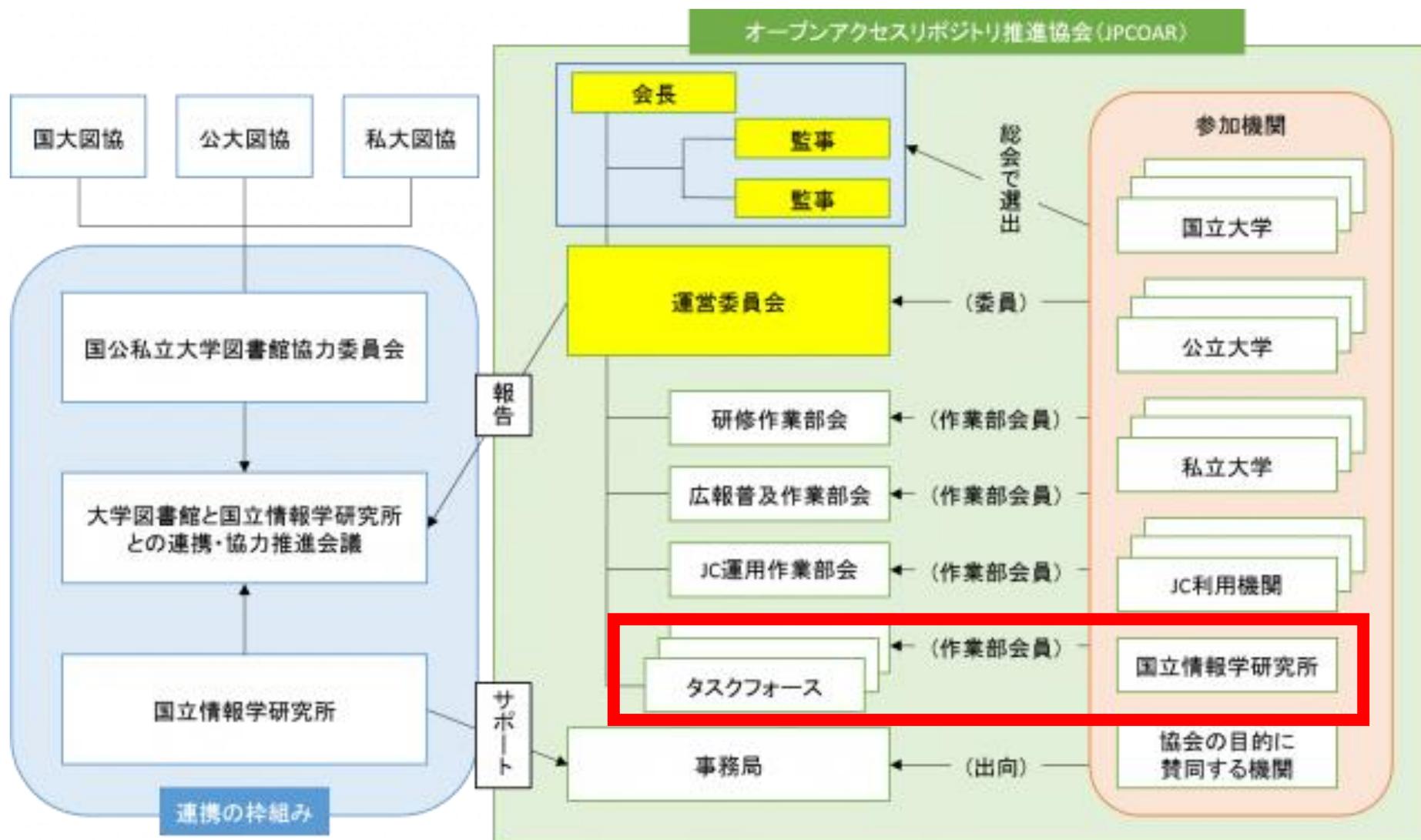
2019年5月29日

学術情報基盤オープンアクセスフォーラム2019

学ぶ、使えるNIIが展開する研究データ管理について

常川真央（国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター）

# オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR)



# JPCOAR 研究データTF (現・研究データ作業部会)



はじめての  
**研究データ管理!**

Research Data Management

OPEN SCIENCE

JPCOAR  
オープンアクセスリポジトリ推進協会

JAIRO Cloud とは？  
What is "JAIRO Cloud"?

概要 About  
規程類 Rules  
会議資料 Minutes  
参加機関 Members  
参加申込 Join us  
事業計画 事業報告 Project  
各種資料 Publication

講義概要

講義内容

本講義は、研究データ管理に関する基礎的な知識を得るためのもの  
研究活動に伴い研究データがたどるプロセスとその管理の多岐に  
の複雑性と柔軟性の向上に欠かせない、効果的な研究データ管理  
について学ぶことができます。

さらに、現場を学んだ後、各学専攻が、所属機関における研究に  
向けに積極的な取り組みを行うための足掛かりを得られるよう、構成さ  
れた以下のいずれかに該当する方を受講者として想定しています。

- ・大学や研究機関において研究者の支援に携わる方 (図書館  
の職員 (IR担当)、研究室や研究開発部に属する方)
- ・オープンサイエンスや研究データ管理に関心のある方

第1講：研究データ管理とは

- ・本講義の意義とねらい
- ・研究データ管理の重要性が報じている背景
- ・研究データ、研究データ管理の意義
- ・効果的なデータ管理を助ける国内外の動向
- ・データ管理計画の策定

第2講：保存・共有・文書化

- ・研究データの保管や長期保存・共有、再利用  
の観点から検討する

RDMトレーニングツール

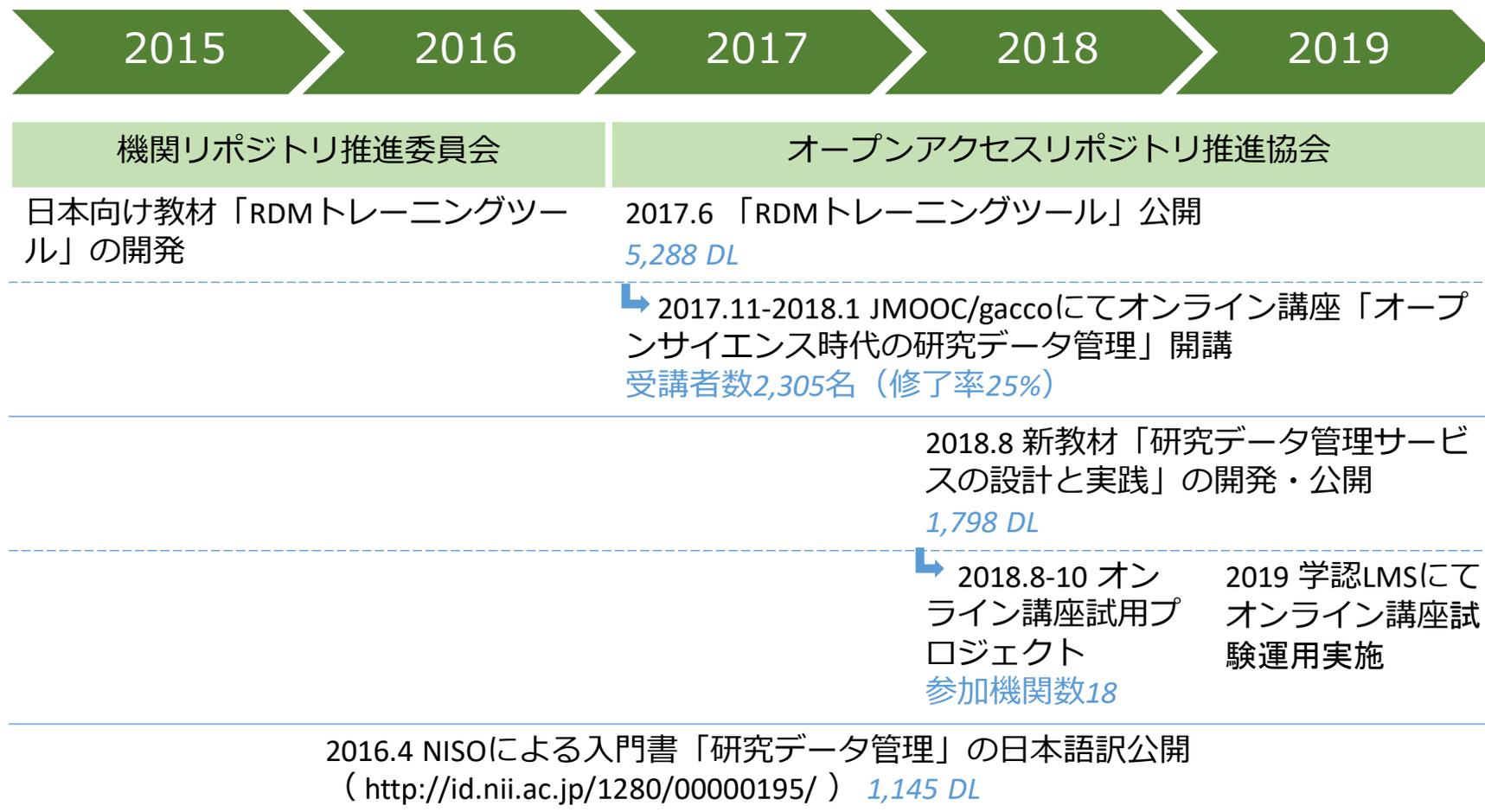
| File / Name            | License          |
|------------------------|------------------|
| RDMトレーニングツール(スクリプト) 1章 | Creative Commons |
| RDMトレーニングツール(スクリプト) 2章 | Creative Commons |
| RDMトレーニングツール(スクリプト) 3章 | Creative Commons |
| RDMトレーニングツール(スクリプト) 4章 | Creative Commons |
| RDMトレーニングツール(スクリプト) 5章 | Creative Commons |
| RDMトレーニングツール(スクリプト) 6章 | Creative Commons |

- 研究データ管理の支援に関する様々な取り組みを行うTF
- 2019年度より作業部会に
- 主な活動
  - トレーニング教材の開発
  - 研究データレスキュー
  - 関連文書の翻訳等

## なぜ教材開発か？

- OA・リポジトリ担当人材はいるが
- 研究データを支援する人材は不足

# 研究データ管理に関するJPCOARとNIIの教材開発活動



DL=ダウンロード数（～2019年4月）

※出典:西園由依『JPCOARによるRDM人材育成の取り組みと今後の展開』JOSS2019にて

# RDMトレーニングツールの開発



WEKO

トップ ランキング

検索

Language: 日本語

インデックスツリー

入会申請書  
設立趣意書  
規程類  
設立総会  
総会  
運営委員会  
リーフレット  
発表資料等  
事業計画・事業報告

インデックス

事業計画・事業報告 ▶ タスクフォース ▶ 研究データ

Permalink: <http://id.nii.ac.jp/1458/00000023/>

RDMトレーニングツール [利用統計を見る](#)

| File / Name  | License  |
|--|--|
| RDMトレーニングツール(スクリプト入)_1章<br>RDMトレーニングツール(スクリプト入)_1章 (166.56KB) [ 1065 downloads ] |  Creative Commons : 表示   |
| RDMトレーニングツール(スクリプト入)_2章<br>RDMトレーニングツール(スクリプト入)_2章 (803.53KB) [ 430 downloads ]  |  Creative Commons : 表示  |
| RDMトレーニングツール(スクリプト入)_3章<br>RDMトレーニングツール(スクリプト入)_3章 (118.66KB) [ 349 downloads ]  |  Creative Commons : 表示 |
| RDMトレーニングツール(スクリプト入)_4章<br>RDMトレーニングツール(スクリプト入)_4章 (454.65KB) [ 352 downloads ]  |  Creative Commons : 表示 |
| RDMトレーニングツール(スクリプト入)_5章<br>RDMトレーニングツール(スクリプト入)_5章 (578.65KB) [ 330 downloads ]  |  Creative Commons : 表示 |
| RDMトレーニングツール(スクリプト入)_6章<br>RDMトレーニングツール(スクリプト入)_6章 (100.51KB) [ 335 downloads ]  |  Creative Commons : 表示 |

- 研究データに関する知識を包括的に解説した教材（全7章構成）
- 1章ごとに単一のスライド資料として提供
- クリエイティブ・コモンズ・ライセンス国際4.0表示(CC-BY)でJPCOARのサイトから提供
- <http://id.nii.ac.jp/1458/00000023/>

# RDMトレーニングツールの構成

| 章   | タイトル                |
|-----|---------------------|
| 第1章 | 導入                  |
| 第2章 | データ管理計画             |
| 第3章 | 保存と共有               |
| 第4章 | 組織化、文書化、<br>メタデータ作成 |
| 第5章 | 法・倫理問題              |
| 第6章 | ポリシー                |
| 第7章 | 研究データ管理サービスの<br>設計  |

- 研究データの保存といった基礎知識から、第7章のようなサービス設計の知識まで幅広い内容を扱う
- 研究データに関わる多様な人のニーズを満たすように設計
- 研究データに関する背景知識を持たない学習者でも、抵抗なくRDMについて学び始めることができるように配慮

# オンライン講座「オープンサイエンス時代の研究データ管理」



gacco Certified by JMOOC

ログイン 新規会員登録

オープンサイエンス時代の研究データ管理

登録は終了しました

講座概要

**講座内容**  
本講座は、研究データ管理に関する基礎的な知識を得るためのものです。

研究活動に伴い研究データがたどるプロセスとその管理のあり方について理解し、研究の再現性と透明性の向上に欠かせない、効果的な研究データ管理を行うための方法について学ぶことができます。

さらに、概略を学んだ後、各学習者が、所属機関における研究データ管理サービス構築に向けた戦略立案を行うための足掛かりを得られるよう、構成されています。

第2週：保存・共有・文書化 **ここからの学習内容**

2-1

- 研究データの保管・保存に必要な環境やメタデータの必要性を理解する
- 研究データの共有にあたり、オープン/クローズ戦略を定めることの重要性を理解する
- データの検索・引用手段の提供方法について確認する

生成  
加工  
公開  
分析  
再利用  
研究データのライフサイクル

いかに分けるかその戦略が定まっていることが重要です

国立情報学研究所「オ...」  
Research Data Management  
はじめての  
研究データ管理!

※受講登録するとお客様の利用者情報は講座提供者（講師）に共有されません。詳しくは利用規約とプライバシーポリシーをご覧ください。

講座番号:ga088

受講開始日:2017年11月15日

想定される勉強時間/週:4.5時間程度

- 学習者が自律的に学べる環境として開講
- 受講期間：2017年11月15日から2018年1月15日
- MOOCsプラットフォーム「gacco」で提供 (講義動画も提供)
- RDMトレーニングツールを4週間分の学習内容に再構成
- 動画での学習、小テストによる理解度の把握、掲示板を通じたQ&Aと学びあい
- <https://www.nii.ac.jp/service/jmooc/rdm/>

# オンライン講座の結果

---

- オンライン講座の受講者数：2,305名
- 講座を修了した受講者は約25%
  - gaccoの平均修了率(2017年度)は約15%
- アンケート結果(2,305名のうち受講前770名/受講後345名回答)
  - 講座の満足度：「非常に満足」「やや満足」が90%以上
  - 「知り合いに薦めたいですか」に肯定的な回答も90%以上
- 課題：受講者の文脈との接続
  - 勤務先における環境の未整備から知識を有効活用できない
  - 誰を対象とした教材であるのかが分からない

# 新教材「研究データ管理サービスの設計と実践」

J P C O A R  
オープンアクセスリポジトリ推進協会

概要  
About

組織  
Organization

参加機関  
Members

参加申込  
Join us

JAIRO Cloud とは？  
What is "JAIRO Cloud"?

規程類  
Rules

会議資料  
Minutes

事業計画  
事業報告  
Project

各種資料  
Publication

WEKO

トップ ランキング

語

検索

▶ 詳細検索

● 全文検索 ○ キーワード検索

Language

日本語

インデックスツリー

- 入会申請書
- 設立趣意書
- 規程類
- 設立総会
- 戦略
- 総会
- 運営委員会
- リーフレット
- 発表資料等
- 事業計画・事業報告

インデックス

事業計画・事業報告 ▶ タスクフォース ▶ 研究データ

Permalink : <http://id.nii.ac.jp/1458/00000107/>

教材「研究データ管理サービスの設計と実践」

[利用統計を見る](#)

| File / Name  | License  |
|--|--|
| <b>研究データ管理サービスの設計と実践_第1章：序論</b><br><a href="#">研究データ管理サービスの設計と実践_第1章：序論 (4.57MB)</a> [ 346 downloads ]         | <br>Creative Commons : 表示   |
| <b>研究データ管理サービスの設計と実践_第2章：サービス設計</b><br><a href="#">研究データ管理サービスの設計と実践_第2章：サービス設計 (2.44MB)</a> [ 192 downloads ] | <br>Creative Commons : 表示  |
| <b>研究データ管理サービスの設計と実践_第3章：研究前の支援</b><br><a href="#">研究データ管理サービスの設計と実践_第3章：研究前の支援 (5.33MB)</a> [ 157 downloads ] | <br>Creative Commons : 表示 |
| <b>研究データ管理サービスの設計と実践_第4章：研究中の支援</b><br><a href="#">研究データ管理サービスの設計と実践_第4章：研究中の支援 (8.45MB)</a> [ 442 downloads ] | <br>Creative Commons : 表示 |
| <b>研究データ管理サービスの設計と実践_第5章：研究後の支援</b><br><a href="#">研究データ管理サービスの設計と実践_第5章：研究後の支援 (7.39MB)</a> [ 552 downloads ] | <br>Creative Commons : 表示 |

- 研究データ管理支援者を対象とした実践的な教材

- RDM自体の知識・スキルだけでなくサービス設計やポリシー策定も含む

- 内容を「研究前」「研究中」「研究後」に分け、研究(支援)プロセスに沿って学習可能

- <http://id.nii.ac.jp/1458/00000107/>

# 新教材の構成

| 章   | タイトル   | 内容  |
|-----|--------|---|
| 第1章 | 序論     | 研究データ管理とは何か/背景/サービス   |
| 第2章 | サービス設計 | 機関の戦略・ポリシー立案 / Data Asset Framework   |
| 第3章 | 研究前の支援 | 研究者が遵守すべきポリシー / DMPの作成支援  |
| 第4章 | 研究中の支援 | 研究中に求められる支援について<br>• 研究データの種類とセキュリティポリシーの関係<br>• データの保存 / 発見 / 分析・可視化支援<br>• 論文発表時のデータの取扱い<br>• データ管理計画の見直し |
| 第5章 | 研究後の支援 | 研究終了後に、得られたデータを公開することについて   |
| 第6章 | 日常的な支援 | 日常的な研究データ管理サービスについて学ぶ<br>研修 / ポータルサイト構築 / 窓口業務 / 広報 / アドボカシー  |

# 今後の予定 & 展望

---

## 1. 学認LMS上でのオンライン講座試験運用(詳細：古川・尾城より説明)

- NIIが運用するLMSと、新教材を使用してオンライン講座を運用予定

## 2. 主にJPCOARとして：研究者向けの教材作成

- 若手研究者の適切なRDM実施を支援する教材づくり
- 課題：受講者ごとの研究環境やデータ環境の文脈依存をどうするか？

## 3. 主にNIIとして：基盤とトレーニング教材の対応

- 育成された人材はNII RDCを使いこなせるといえるか？
- NII RDCの導入とRDMトレーニングがかみ合うようにしたい
- Gakunin RDMを一つのケースとした具体的な支援の流れを学習できる？